

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月31日

協議会名: 河内長野市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス	【前回評価結果】 利用促進の1つとして実施しているバスマップについて、どの程度認知され利用されているのかなど、利用者側からの評価も必要である。 【反映状況】 市制モニター制度の活用やイベント時にアンケートを実施するなどにより、認知度や利用者の声を聞きとり、次の取り組みに反映。 具体的に、バスマップでは使いやすさや見やすさ等では概ね好評を得たものの、情報量や情報の種類に関してはモデルルートや所要時間が欲しいといった意見があり、次年度の作成の総合時刻表や企画乗車券PRチラシで反映するようにした。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→○ H27:79,577人→H28:82,068人	沿線上に点在する商業・レジャー施設と連携し、バス利用の目的となる施設のイベント情報等を積極的に発信することで、引き続き、需要喚起に努める。
南海バス株式会社	日野・滝畑コミュニティバス2(奥河内くろまろの郷経由系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→× H27:45,882人→H28:43,037人	山間部の集落へ向かう路線のため、特に高齢化やマイカー利用の影響を受けやすく、新たな需要喚起も難しい。 ⇒日常生活でのマイカーとバス利用の賢い使い分け等の情報発信を検討し、維持に努める。
南海バス株式会社	路線バス小深線2(石見川系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→× H27:80,030人→H28:73,074人	日野・滝畑コミュニティ(輸送人員増)と並走しているため利用者が分散していると考えられる。 ⇒日野・滝畑コミュニティと連携した利用促進策の検討やニーズ把握に努め、相乗効果で利用者維持を図る。
南海バス株式会社	路線バス高向線1(高向起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→○ H27:178,716人→H28:181,019人	天野山線4は輸送人員で目標未達成となったが、天野山線3系統の合計ではH27年度203,228人からH28年度208,260人と増加している。特にサイクルセンター系統が大幅に伸びていることから、利用促進のために、施設と連携したPR活動に一定の効果があったと考えられる。 ⇒3系統は輻輳している部分が多いことから、3系統で総合的に利用促進に努め、維持充実を図っていく。 ⇒今後、バスロケーションシステムの導入や市広報でバスを利用したお出かけ特集等も予定しており、引き続き利用促進に努めることで、輸送人員の維持・増加を目指していく。
南海バス株式会社	路線バス天野山線5(旭ヶ丘系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→× H27:16,838人→H28:16,370人	
南海バス株式会社	路線バス天野山線4(天野山起終点系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 【運行回数】 目標:現状維持→実績:○ 【輸送人員】 目標:維持もしくは増加→○ H27:7,674人→H28:10,871人	
南海バス株式会社	路線バス天野山線3(サイクルセンター系統)		A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された		

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月31日

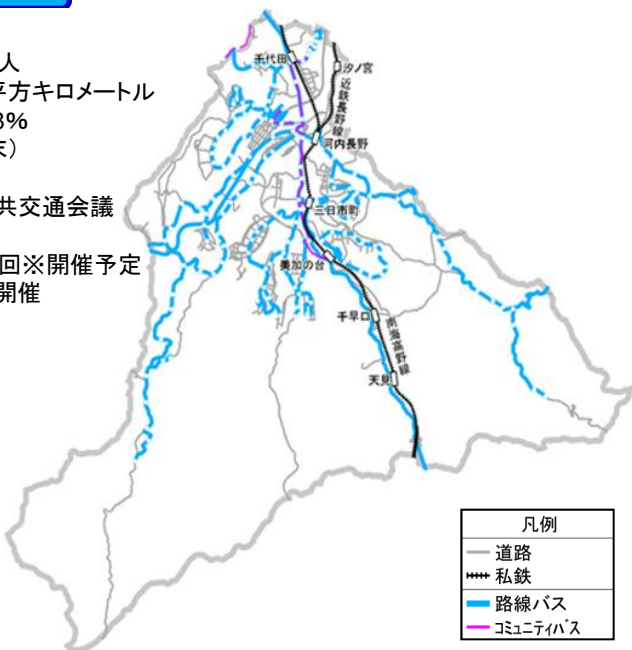
協議会名:	河内長野市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>河内長野市は大阪府の南東端に位置し、人口約11万人、面積は109.6km²と府内で3番目に広い。市域の約7割を森林が占め緑豊かな環境である一方、住宅団地が点在するため公共交通は市民生活を支える大切な交通手段である。しかしながら、人口減少や少子高齢化、マイカー普及などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・発展を図る必要がある。</p>

目的 計画 目標 (P)

- 事業の目的
公共交通の利用促進につながる取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・発展を図る。
- 計画内容
「河内長野市地域公共交通網形成計画」等に基づき、様々な公共交通の利用促進に繋がる取り組みを実施することにより、総合的に既存路線の維持・発展を図り自動車等を利用できない方や通勤・通学等の社会活動、買物・通院等の普段の生活に必要な移動手段を確保する。
- 定量的な目標(各路線における対前年度実績)
 - ・運行回数の維持
 - ・輸送人員の維持もしくは増加

概要図・参考資料

- ・河内長野市の概要
 - 【人口】 108,488人
 - 【面積】 109.63平方キロメートル
 - 【高齢化率】 31.8%
 - (平成28年12月末)
- ・河内長野市地域公共交通会議
開催状況
 - 【平成28年度】 5回※開催予定
 - ※うち2回は書面開催



【河内長野市の公共交通網】

具体的取り組み (D)

- 河内長野市地域公共交通網形成計画」及び「地域公共交通調査等事業」等に基づき、公共交通の利用促進につながる取り組みを実施(H27年10月～H28年9月)
 - ・電車、バス、タクシーなどの市内の公共交通情報(時刻表、路線、乗り場、運賃等)を1冊にまとめた「河内長野ナビ」を50,000部作成し、全戸配布。
 - ・企画乗車券PRによりバス利用者増を図る目的で、沿線上の商業・レジャー施設と連携し利用特典を用意。施設へのアクセス方法や特典内容を掲載したチラシ・ポスターを作成し、公共施設等で配布するとともに、市内の小中学校の全児童へも配布。
 - ・日野滝畑コミュニティバスについては、特に沿線に野菜直売所等の商業・レジャー施設が点在することから、施設とバス停の関係が分かりやすいようホームページを改良し、バス利用によるお出かけの推進を図った。
 - ・バス沿線施設のイベント情報を作成し、バス車内や駅前、公共施設に掲示。

取組みに対する評価 (C)

- 目標達成状況(平成27年10月～平成28年9月)
 - ・運行回数：対象7系統全てで運行回数の維持ができ、目標達成。
 - ・輸送人員：対象7系統のうち、4系統が目標達成、残り3系統は目標未達成。
 - ※目標達成路線…日野滝畑コミュニティ1,2、天野山線5(旭ヶ丘系統)、天野山線3(サイクルセンター系統)
 - ※目標未達成路線…小深線2(石見川系統)、高向線1(高向起終点系統)、天野山線4(天野山起終点系統)

自己評価から得られた課題、対応 (A)

- 生活路線を維持するため、地域公共交通会議での議論を深め、本市では初となる総合時刻表等を作成するなど、積極的に公共交通機関の情報の発信に努めた。また、沿線施設のイベント情報を集約発信し外出のきっかけ作りに努めるなど、より需要喚起に力を入れた。
- 結果、特に沿線に施設等がある日野滝畑コミュニティ1,2及び天野山3(サイクルセンター系統)等については輸送人員が増加したが、一方で山間地を運行する小深線2(石見川系統)等では新たな需要喚起が難しく苦慮している。
- 今後もバスロケーションシステムの導入や企画乗車券利用者への特典拡大等を予定しており、バス事業者とも協力しながら、利用環境の全般をより良いものにする事で、総合的にバス路線の維持に努める。

アピールポイント、特に工夫した点など

- 『河内長野市ナビ』：これまで個別に存在した市内の公共交通情報を1冊に集約し、全戸配布。時刻表や運賃表の余白を有効利用し「お出かけスポット」や「外出による効果」、「運賃表の見方」等の情報も盛り込む等工夫。また各情報に対応したホームページ等のQRコードも挿入し、冊子が手元にない場合や今後のダイヤ改正にも対応できるようにした。
- 『企画乗車券PRチラシ』：引き続き企画乗車券のPRを実施するとともに、バス沿線施設と連携し利用者への特典情報を掲載。また、配布先は従来の公共施設関係だけでなく、学校へ協力を要請し市内の全小中学校生へ直接配布するなど、効果がより高いと見込まれるところを選定(企画乗車券の販売実績も増加)。
- 『ホームページの改良』：文字の羅列が多かったコミュニティバスのサイトを、イラストやイベント情報等を掲載し視覚にうったえる内容に変更。
- 『沿線施設のイベント情報』：コミュニティバス沿線施設のイベント情報を集約発信し、外出のきっかけ作りに努め、需要喚起にも力を入れた。